



相模原市
マスコットキャラクター
「さがみん」

相模原市立公文書館 講演会

地図から見た 相模原の都市の移り変わり

講師 浜田 弘明 教授（桜美林大学）

本市に保存されている地図と公文書を使って、相模原のまちや都市の移り変わりを公文書の世界から眺めてみます。

日時 平成27年1月31日（土）
午後2時から午後4時まで

※ 正午から午後5時まで公文書館の一般利用はできません。

会場 相模原市立公文書館
相模原市緑区久保沢1丁目3番1号
城山総合事務所第2別館3階

定員 58名（参加費無料）

申込方法 電話又は
Eメールによる申込み（先着順）

電話番号 042-783-8053

Eメール koukai@city.sagamihara.kanagawa.jp

（「講演会申込み」の旨と氏名、連絡先、参加人数をお知らせください。）

※ 1月15日（木）から受付開始。定員になり次第締め切ります。

問い合わせ先 相模原市立公文書館 電話 042-783-8053



橋本駅周辺（昔の様子）



橋本駅周辺（今の様子）

（裏面もご覧ください。）

講師プロフィール

1957年神奈川県海老名市生まれ。法政大学大学院人文科学研究科地理学専攻修了。
現在、桜美林大学人文学系教授。相模原市教育委員会で人文地理担当学芸員として、博物館準備段階から開館後まで20年間勤務。その後、桜美林大学で博物館学芸員養成科目・文化地理学等を担当する傍ら、相模原市史編集委員ほか、座間市、海老名市、綾瀬市、大和市、藤沢市、愛川町、多摩市など、各地の市史・文化財調査にたずさわる。

公文書館ってなにをするところ

公文書館は、歴史的公文書を保存・管理する施設であると同時に、市民の皆さんが閲覧などで、利用できる場です。

歴史的公文書とは

過去の公文書の中には、貴重な本市の成長の過程が記録されています。

これらの公文書のうち、後世に残すべき重要なもので、永久に保存をしていく必要があるものを、歴史的公文書といいます。

公文書館の役割・公文書館でできること

- ① 歴史的公文書などの利用についての相談
- ② 歴史的公文書の利用請求の受け付け
- ③ 行政資料（市の予算書・統計書・都市計画図など）の閲覧や販売
- ④ 歴史的公文書の企画展示
- ⑤ 講演会の開催など



開館時間と休館日

開館時間 午前8時45分～午後5時まで

休館日 月曜日（月曜日が祝日等の場合はその翌日）、毎月第3水曜日
12月29日から1月3日まで、その他市長が定める日

公文書館までの交通案内

橋本駅から「三ヶ木」「上中沢」「城山」「若葉台住宅（町屋経由を除く）」「小沢」「鳥居原ふれあいの館」行きバス、三ヶ木方面からは橋本駅行きバス、「城山総合事務所入口」で下車、徒歩3分。

